

## 生涯教育文献目録 (1986. 1 ~ 1986.12) II

日本生涯教育学会

## — 凡 例 —

- (1) 学会員を対象に1987年5月から6月にかけて行なった生涯教育文献調査の回答をもとに、1986年度に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。
- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1 生涯教育一般                 | 7 生涯教育と学校教育<br>(学校改革・学校開放も含む)                                 |
| 1-a 生涯教育の理念              | 8 生涯教育と地域社会   |
| 1-b 生涯教育の歴史              | 9 生涯教育と企業内教育  |
| 1-c 生涯教育の内容              | 10 生涯教育と放送・通信教育   |
| 1-d 生涯教育の方法              | 11 生涯教育と関連教育施設<br>(生涯教育センター・社会教育センター・<br>公民館・文化センターなど諸施設論を含む) |
| 1-e 自己(管理的)学習論           | 12 学習情報・相談  |
| 1-f ライフ・サイクル論            | 13 人材活用   |
| 1-g 学習社会論                | 14 生涯教育と行政施策<br>(答申・報告書等も含む)                                  |
| 1-h その他                  | 15 生涯教育の推進事例  |
| 2 生涯教育と青少年教育             | 16 諸外国の生涯教育   |
| 3 生涯教育と成人教育<br>(婦人教育も含む) | 17 その他  |
| 4 生涯教育と高齢者教育             |   |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ         |   |
| 6 生涯教育と家庭教育              |   |
- (4) 文献は各領域ごとにI～VIに類別した。さらに執筆者(著者、翻訳者、編者)を50音順とした。
- (5) 記載事項は次のとおりである。  
 <単行本> ①編著者名②書名③発行所名  
 <雑誌・報告書等の論文・記事> ①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号  
 ⑤発行所名⑥所収頁
- (6) 頁数の表記は次のとおりとした。  
 3～5頁→3—5頁

## 1. 生涯教育一般

## I 著書

- ・野村佳子,『主婦たちの国際会議—生涯教育の道のり—』,毎日新聞社,252頁。

## II 編書

- ・佐藤晴雄・岩崎正吾・森岡修一・前田耕司編,『教師をめざす人のための教育学』,エイデル研究所,176頁。

## IV 雑誌論文

- ・瀬沼克彰,「わが国における生涯教育の進展状況」,『オペレーションズ・リサーチ』7月号,日本オペレーションズ・リサーチ学会,5—10頁。
- ・藤岡英雄,「〈学習関心の階層モデル〉とその有効性」,『NHK放送研究と調査』2月号,日本放送出版協会,56—59頁。
- ・藤岡英雄・小平さち子,「日本人の学習関心'85—成人の意識と行動をさぐる—(第2回学習関心調査・報告1)」,『NHK放送研究と調査』3月号,日本放送出版協会,2—27頁。
- ・藤岡英雄,「成人学習の類型とその変容(第2回学習関心調査・報告4)」,『NHK放送研究と調査』11月号,日本放送出版協会,36—45頁。
- ・山本恒夫,「生涯教育と社会教育」,教職研修増刊特集号 No.20,『生涯教育読本』,教育開発研究所,170—178頁。
- ・吉川 弘,「教育改革の流れと生涯教育の方向」,『にいがた社会教育』No.156,新潟県社会教育協会,2—5頁。
- ・吉川 弘,「教育改革の流れと生涯教育の方向」,『にいがた社会教育』No.157,新潟県社会教育協会,2—5頁。

## V 編纂書論文

- ・佐藤晴雄,「生涯教育と社会教育」,岩崎正吾・佐藤晴雄他編『教師をめざす人のための教育学』,エイデル研究所,117—138頁。
- ・佐藤晴雄,「公的社会教育経営の現代的課題—東京都内社会教育主事の意識調査をもとに—」,『日本教育経営学会紀要』第28号,第一法規,111—128頁。
- ・藤岡英雄,「学習関心の階層モデル—学習ニーズ把握の新しい枠組みとその有効性について—」,『日本生涯教育学会年報』第7号,日本生涯教育学会,223—238頁。

## 1 - a 生涯教育の理念

## IV 雑誌論文

- ・白石克己, 「生涯教育と時間」, 『日本生涯教育学会報』第7号, 日本生涯教育学会, 47-52頁。

## V 編纂書論文

- ・池田秀男, 「生涯教育学としてのアイデンティティの確立をめざして」, 『日本生涯教育学会年報』第7号, 日本生涯教育学会, 27-31頁。
- ・岡本包治, 「生涯教育論の波紋」, 『日本生涯教育学会年報』第7号, 日本生涯教育学会, 3-7頁。
- ・三浦清一郎, 「社会教育における(公共性)の論理と心理」, 国立社会教育研修所『社会教育論集-その3-』, 国立社会教育研修所, 33-42頁。

## 1 - b 生涯教育の歴史

## IV 雑誌論文

- ・井上豊久, 「1950年代アンドラゴジー論の特徴-ハンゼルマンとペゲラーを中心に-」, 『広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集』第12巻, 広島大学, 58-64頁。

## V 編纂書論文

- ・佐々木隆介, 「古典的生涯教育論」, 教職研修増刊特集号 No.20, 『生涯教育読本』, 教育開発研究所, 76-83頁。

## 1 - c 生涯教育の内容

## IV 雑誌論文

- ・池田秀男, 「社会教育事業の開発-事業内容からみた開発の視点-」『社会教育』第485, 全日本社会教育連合会, 5-10頁。

## 1 - d 生涯教育の方法

## IV 雑誌論文

- ・井上講四, 「魅力ある事業編成の方法-学習援助の中味に真の魅力を-」, 『月刊公民館』第344号, 全国公民館連合会, 29-37頁。

- ・岡本包治,「サークルづくりの考え方と方法(入部活動へのアドバイス)」,『社会教育資料』第97号,広池学園出版部,126—135頁。
- ・岡本包治,「仲間づくりときまりのあるサークルの運営」,『社会教育資料』第100号,広池学園出版部,99—109頁。
- ・佐伯信男,「ニューメディア時代における視聴覚教育」,『視聴覚教育』第40号 No. 2,日本視聴覚教育協会,24—31頁。
- ・真壁静夫,「生涯学習推進本部の役割と実際」,『社会教育』第482号,全日本社会教育連合会,14—17頁。

## V 編纂書論文

- ・真壁静夫,「集めるから集まる社会教育をめざして」,朝比奈博編『であいとふれあい』,教友社,94—103頁。
- ・山本恒夫,「社会教育における視聴覚教育の課題」,文部省学習情報課編『昭和61年度視聴覚教育指導者講座』,文部省,103—106頁。

### 1—e 自己(管理的)学習

## I 著書

- ・白石克巳,『自立的学習への道—いかに読み書き考えるか—』,玉川大学通信教育部,119頁。

## IV 雑誌論文

- ・山本恒夫,「生涯学習と自己学習」,『教育心理』第34巻第1号,日本文化科学社,32—35頁。

### 1—h その他

## IV 雑誌論文

- ・広渡修一・香川正弘,「さが社会保険センターにおける講座の実証的研究—『生きがい調査』からみた講座と『生きがい』の関係—」,『佐賀大学教育学部研究論文集』第34集第1号(I),佐賀大学教育学部,1—33頁。

## 2. 生涯教育と青少年教育

## II 編書

- ・伊藤俊夫,「躍動する子供達」,伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の展開』,

ぎょうせい, 1—107頁。

- ・伊藤俊夫, 「青少年教育施設の設計意図」, 伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の展開』, ぎょうせい, 182—190頁。
- ・伊藤俊夫, 「集団宿泊活動における安全管理」, 伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の展開』, ぎょうせい, 270—278頁。
- ・木村清一, 「青年団の集団宿泊活動」, 伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の実際』, ぎょうせい, 258—267頁。

#### IV 雑誌論文

- ・押谷由夫, 「子どもの仲間選択の特質と規定因に関する研究」, 『高知女子大学紀要』第34巻, 高知女子大学, 1—17頁。
- ・押谷由夫, 「仲間関係の特質と子どもの社会化」, 『教育と医学』7月号, 慶應通信, 20—26頁。
- ・木村清一, 「青年の家(宿泊型)における研修プログラム」, 『社会教育』第486号, 全日本社会教育連合会, 35—41頁。

#### V 編纂書論文

- ・斎藤哲瑯, 「少年自然の家における活動プログラムの考え方」, 『日本生涯教育学会年報』第6号, 日本生涯教育学会, 135—152頁。
- ・三浦清一郎, 「集団宿泊活動の定着と発展—事後指導の必要と工夫—」, 伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の展開—教育環境の人間化をめざして—』, ぎょうせい, 279—286頁。
- ・吉川 弘, 「高等学校の集団宿泊活動」, 伊藤俊夫・坂本昇一編『集団宿泊活動の展開』, ぎょうせい, 243—249頁。

#### VI 調査報告

- ・田中雅文, 「高校生とマスメディア」, 『東京の青少年のマスメディアに対する接触状況』, 東京都生活文化局, 157—190頁。
- ・三浦清一郎, 「現代教育の忘れもの」, 福岡県教育委員会『教育福岡』No.373, 福岡県教育委員会, 2—6頁。

### 3. 生涯教育と成人教育(婦人教育も含む)

#### I 著者

- ・山口 真, 「A Cross-Cultural Study of Women's Vocational」, 『Aspirations and Education in England and Japan』, 私学研修福祉会, 181頁。

## IV 雑誌論文

- ・浅井経子,「成人の学習行動に関する研究(1)―埼玉県坂戸市調査を手がかりとして―」,『淑徳短期大学研究紀要』,第25号,淑徳短期大学 57―71頁。
- ・浅井経子,「生涯教育とスポーツ・文化活動」,教職研修増刊特集号 No.20,『生涯教育読本』,教育開発研究所,193―200頁。
- ・池田秀男,「社会教育指導者の役割体系」,『広島大学教育学部紀要』第1部第34号,広島大学教育学部,113―122頁。
- ・池田秀男・井上豊久,「成人教育の目標と課題の構造―F・ペゲラーの場合―」,『広島大学教育学部紀要』第1部第34号,広島大学教育学部,123―131頁。
- ・岡本包治,「メンバーを生かすサークルの運営」,『社会教育資料』第98号,広池学園出版部,128―137頁。
- ・山口 真,「Japan's Experiences in Adult Civic」,『Education「Convergence」』Vol. XIX No. 2, International Council of Adult Education, 49―54頁。
- ・山口 真,「The Role of Adult Education in Community Settings―Japanese Experience―」,『Courier』No.38, Asian South Pacific Bureau of Adult Education, 9―10頁。

## V 編纂書論文

- ・浅井経子,「女性の意識と学習」,国立社会教育研修所『婦人教育論集』第1集,国立社会教育研修所,45―64頁。
- ・浅井経子,「学習活動の実態」,今市市教育委員会『今市市民の生活と学習についての調査報告書』,今市市教育委員会,15―37頁。
- ・池田秀男,「婦人問題と婦人教育」,国立教育会館社会教育研修所『研究資料・婦人と学習』,国立教育会館社会教育研修所,1―15頁。
- ・池田秀男,「婦人と生涯学習」,広島県教育委員会『婦人リーダー・ハンドブック』,広島県教育委員会,15―18頁。
- ・岡本包治,「これからの婦人団体活動とその進め方」,『全地婦連課題別研修講座資料』,全国地域婦人団体連絡協議会,70―95頁。
- ・岡本包治,「人生80年の学習」,長野県教育委員会『婦人リーダーハンドブック』,長野県教育委員会,65―69頁。
- ・末崎ふじみ,「壮年会の機能と地域形成の役割」,『日本生涯教育学会年報』第7号,日本生涯教育学会,187―204頁。
- ・瀬沼克彰,「カルチャーセンターにおける学習需要の動向」,国立教育会館社会教育研修所『成人と学習』,国立教育会館社会教育研修所,13―30頁。
- ・三浦清一郎,「成人教育」,高等教育研究紀要第6号『地域短期高等教育システムの研究』,高等教育研究所,103―116頁。

- ・山口 真,「婦人教育施策の変遷と動向」, 国立教育会館社会教育研修所『研究資料』, 国立教育会館社会教育研修所, 1—18頁。
- ・吉川 弘,「婦人団体活動の様態に関する調査研究」, 『新潟大学教育学部紀要』第27巻第1号, 新潟大学教育学部, 25—35頁。

## VI 調査報告

- ・有馬広実,「余暇学習の活性化をめぐる一栃木県足利市の事例—」, 『余暇学習の活性化に関する調査研究』, 日本余暇文化振興会, 22—28頁。
- ・大森秀子,「高齢期・高齢社会の問題に関する川崎市成人の学習意識」, 『川崎市社会教育調査報告書(その3)』, 川崎市教育委員会, 19—41頁, 79—90頁, 121頁。
- ・瀬沼克彰,「富士吉田市の地域特性と余暇学習グループの動向」, 『余暇学習の活性化に関する調査研究』, 日本余暇文化振興会, 9—12頁。
- ・水谷 修,「学習希望と学習イメージ」, 今市市教育委員会『今市市民の生活と学習・文化についての調査』, 今市市教育委員会, 38—61頁。

## 4. 生涯教育と高齢者教育

### I 著書

- ・瀬沼克彰,「高齢社会の生涯教育」, 学文社, 271頁。

### IV 雑誌論文

- ・瀬沼克彰,「実効ある定年退職前教育の提案」, 『総友ニュース』, 8月号, 総友社, 32—36頁。

### V 編纂書論文

- ・清原慶子,「高齢者の生きがい情報システムの構想」, 東京都生活文化局『高齢者の生きがいと社会参加に関する調査研究報告書』, 東京都生活文化局, 104—108頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習と中高年期」, 福井県生涯学習センター編『豊かな人生のために』, 福井県生涯学習センター, 147—193頁。

### VI 調査報告

- ・稲生勁吾,「高齢期・高齢社会の問題に関する川崎市成人の学習意識」, 『川崎市社会教育調査報告書(その3)』, 川崎市教育委員会, 110—126頁。
- ・吉田裕之,「高齢期・高齢社会の問題に関する川崎市成人の学習意識」, 『川崎市

社会教育調査報告書（その3）』、川崎市教育委員会、5—17頁。

## 6. 生涯教育と家庭教育

### IV 雑誌論文

- ・市川 昌・西 秀樹共著、「十代の感性が読めますか」、「おかあさんの勉強室」、7、日本放送出版協会、59—66頁。

### V 編纂書論文

- ・市川昌、「臨教審答申における生涯教育としての幼児教育と家庭教育の協カシステム」、『竹早教員養成所研究紀要』、第2号、竹早教員養成所、7—18頁。

### VI 調査報告

- ・岡本包治、「豊島区家庭教育に関する調査」、豊島区教育委員会、100頁。
- ・押谷由夫・山根三芳・舟橋明男・森岡和子・江川登志夫他、「家庭教育（乳幼児期）の学習プログラム」、高知県教育委員会『生涯教育基礎資料』第5集、高知県教育委員会、105頁。

## 7. 生涯教育と学校教育 （学校改革・学校開放も含む）

### I 著 書

- ・池田秀男、「生涯教育と教員研修の課題」、『第31回光市教育研究大会講演記録』、山口県光市教育研究会・光市教育委員会、1—32頁。
- ・沼野一男、「情報化社会と教師の仕事」、国土社。

### II 編 書

- ・池田秀男・柴野昌山・麻生誠編、『教育』（リーディングス日本の社会学16）東京大学出版会、317頁。

### IV 雑誌論文

- ・市川 昌、「弱いものいじめの深層をさぐる」、深谷和子編、「現代のエスプリ」5『いじめ』、至文堂、19—33頁。
- ・宮本 一、「自然教育・学社連携と少年自然の家」、『北海道教育の窓』、北海道教育社、6—9頁。
- ・山本恒夫、「生涯学習社会と学校教育」、『学校経営』第31巻第12号、第一法規、

19—25頁。

## V 編纂書論文

- ・池田秀男,「成人教育における学社連携の主要局面とメリット」, 国立社会教育研修所研修資料60～17『学・社連携の主要局面とメリット』, 国立社会教育研修所, 83—98頁。

## VI 調査報告

- ・水谷 修,「国公立大学の生涯教育(1)～(4)」, 筑波大学生涯教育研究プロジェクトチーム編『大学における生涯教育の実践と課題についての調査研究』, 筑波大学生涯教育研究プロジェクトチーム, 5—15頁。

# 8. 生涯教育と地域社会

## I 著書

- ・瀬沼克彰,「企業文化の展開」,『シリーズ地域社会と文化』第4巻, 大明堂, 250頁。

## IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「現代社会における地域集団の役割と方向」,『社会教育』第478号, 全日本社会教育連合会, 5—9頁。

## V 編纂書論文

- ・田中雅文,「地域教育力評価の枠組と留意点」,『地域教育力の活性化に関する実験的研究』, 野萩青少年育成財団, 15—24頁。

## VI 調査報告

- ・山本恒夫他,「今市市の生活と学習・文化についての調査報告書」, 今市市教育委員会, 101頁。

# 9. 生涯教育と企業内教育

## V 編纂書論文

- ・田中雅文,「企業内教育のめざすもの」,『生涯教育のひろがりと今後の動向』, 国立教育会館社会教育研修所, 50—63頁。

## 10. 生涯教育と放送・通信教育

### IV 雑誌論文

- ・池木 清,「開始一年を経た放送大学と今後」,『月刊公民館』第351号,全国公民館連合会,40-45頁。
- ・市川 昌,「メディアミックス時代のテレビ映像(1)」,『放送教育』9,日本放送教育協会,34-38頁。
- ・市川 昌,「メディアミックス時代のテレビ映像(2)」,『放送教育』10,日本放送教育協会,42-46頁。

### V 編纂書論文

- ・清原慶子,「社会教育におけるメディア教育」,後藤和彦・坂元 昂・高桑康雄・平沢 茂編『メディア教育を拓く』,ぎょうせい,219-237頁。

## 11. 生涯教育と関連教育施設

### IV 雑誌論文

- ・鈴木円乘,「今日の公民館—その役割と主事の責務—」,『月刊公民館』第347号,全国公民館連合会,14-18頁。
- ・関口 勇,「社会教育における16ミリ映画の利用調査」,『月刊視聴覚教育』第461号,日本視聴覚教育協会,38-43頁。
- ・山本慶裕,「カルチャーセンターの地域的特性に関する調査研究」,『東海大学文明研究所紀要』第6号,東海大学文明研究所,13-33頁。

### V 調査報告

- ・佐伯信男,「昭和初期における公共図書館児童サービスの形成」,『日本生涯教育学会年報』第7号,日本生涯教育学会,153-172頁。
  - ・田中雅文,「生涯教育と民間文化事業」,教職研修増刊特集号 No.20,『生涯教育読本』,教育開発研究所,201-207頁。
- 山本恒夫,「生涯教育における公民館の姿—住民の学習センターとしての公民館—」,国立社会教育研修所編『学習センターとしての公民館』,国立社会教育研修所,1-13頁。

## 12. 学習情報・相談

## IV 雑誌論文

- ・池田秀男、「情報化（新・知識伝達）社会の教師」、『青年心理』第57号、金子書房、2—11頁。
- ・山本恒夫、「社会教育と学習情報」、『学習情報研究』第1巻第7号、学習情報研究所、18—21頁。

## V 編纂書論文

- ・市川 昌、「生涯教育における学習情報提供システムと図書館の情報ライブラリ一化」、『日本生涯教育学会年報』第7号、日本生涯教育学会、119—133頁。
- ・三浦清一郎、「学習相談の内容と方法」、『国立社会教育研修所『学習センターとしての公民館』、国立社会教育研修所、56—68頁。

## 13. 人材活用

## V 編纂書論文

- ・三浦清一郎・末崎ふじみ、「コミュニティづくりと人材活用」、『実践社会教育シリーズ・大槻宏樹編『コミュニティづくりと社会教育』、全日本社会教育連合会、64—90頁。

## VI 調査報告

- ・有馬広実、「地域を拠点とする余暇活動の現状—奉仕・ボランティア活動—」、『地域を拠点とする余暇活動の実践事例』、日本余暇文化振興会、23—30頁。

14. 生涯教育と行政施策  
(答申・報告書等も含む)

## IV 雑誌論文

- ・池田秀男、「生涯学習の充実と行政の役割」、『社教ひろしま』No.32、広島県社会教育委員連絡協議会、4—11頁。
- ・瀬沼克彰、「有給教育休暇制度の課題」、『教職研修増刊特集号 No.20『生涯教育読本』、教育開発研究所、251—257頁。
- ・半田次男、「生涯学習社会形成に関する方法論について」、『地域経済研究会年報』

第19巻, 地域経済研究会, 52—68頁。

- ・半田次男, 「長寿社会・成熟社会における県民生活の課題について」, 『地域経済研究会年報』第20巻, 地域経済研究会, 11—26頁。
- ・三浦清一郎, 「生涯教育と教育委員会の役割」, 『教育委員会月報』No.430, 文部省教育助成局地方課, 39—50頁。
- ・三浦清一郎, 「市町村における生涯教育推進体制の条件」, 『社会教育』第480号, 全日本社会教育連合会, 5—10頁。
- ・山本恒夫, 「生涯教育推進方策をめぐって」, 『日本生涯教育学会年報』第7号, 日本生涯教育学会, 75—80頁。

## V 編纂書論文

- ・池田秀男, 「市町村における生涯教育の推進について」, 山口県生涯教育推進本部『生涯教育推進資料・市町村における生涯教育推進のために』, 山口県生涯教育推進本部, 21—44頁。
- ・池田秀男, 「生涯教育時代の公民館—全公連第5次専門委員会答申を背景に—」, 広島市公民館連合会『昭和60年度研究記録—公民館の学習活動のあり方—』, 広島市公民館連合会, 3—31頁。
- ・岡本包治, 「中・長期の社会教育計画立案の視点と手順」, 国立社会教育研修所『中・長期の社会教育計画立案の視点と手順』, 国立社会教育研修所, 20—29頁。
- ・福井県生涯学習研究協議会, 「福井県における生涯学習プログラム—望ましい学習課題と学習プログラム—」, 『福井県生涯学習研究協議会報告書』, 福井県生涯学習センター, 96頁。
- ・三浦清一郎, 「生涯教育推進会議の理念と構造」, 福岡県育委員会『生涯教育推進会議報告書』, 福岡県教育委員会, 5—12頁。

## VI 調査報告

- ・有馬広実, 「学習機会の提供事業」, 『調布市における社会教育事業および団体・サークル分析報告書』, 調布市教育委員会, 7—35頁。
- ・池田秀男, 「『高齢期の学習・社会参加』について」, 『広島県社会教育委員会議』, 広島県教育委員会, 28頁。
- ・稲生勤吾, 「提言—生涯学習の発展を目指して—」, 『調布市における社会教育事業および団体・サークル分析報告書』, 調布市教育委員会, 59—64頁。
- ・小池茂子, 「団体・サークル 1. 担当課 2. 学習プログラムの作成主体 3. 会場 4. 援助金 5. 上部団体」, 『調布市における社会教育事業および団体・サークル分析報告書』, 調布市教育委員会, 36—42頁。
- ・清水 忠, 「団体・サークル 6. 会員 7. 活動状況 8. 活動回数 9. 指

- 導者のタイプ」、『調布市における社会教育事業および団体・サークル分析報告書』、調布市教育委員会、42—48頁。
- ・ 蛭田道春、「〈研究資料〉生涯教育推進市町村の特色例一覧」、『社会教育』第484号、全日本社会教育連合会、27—32頁。
  - ・ 吉田裕之、「学習機会の提供事業」、『調布市における社会教育事業および団体・サークル分析報告書』、調布市教育委員会、7—35頁。

## 15. 生涯教育の推進事例

### VI 調査報告

- ・ 安原 昇・渡辺安男・谷本 博他、「民間団体活動に関する事例研究」、『高松市教育文化研究所研究紀要』第10号、高松市教育文化研究所、1—43頁。

## 16. 諸外国の生涯教育

### IV 雑誌論文

- ・ 市川 昌・永井道雄・ダールレーフ・中嶋 博、「多様化の中の人間教育—スウェーデン—」、『放送教育』4、日本放送教育協会、52—59頁。
- ・ 市川 昌・天野正治・子安美知子、「一人ひとりを生かす教育—西ドイツ—」、『放送教育』5、日本放送教育協会、32—41頁。
- ・ 市川 昌・中島章夫・金子忠史、「危機にたつ教育—アメリカ—」、『放送教育』6、日本放送教育協会、46—58頁。
- ・ 佐藤晴雄、「イギリスの青少年育成活動—ユース・サービスの現状と特色—」、太田区教育委員会『大田区青少年対策地区委員会だより』第35号、大田区教育委員会、20—24頁。
- ・ 三浦清一郎、「アメリカのコミュニティ・カレッジ」、教職研修増刊特集号 No.20、『生涯教育読本』、教育開発研究所、296—300頁。

### V 編纂書論文

- ・ 佐藤晴雄、「イギリスの対独占領教育政策—社会教育の場合—」、国立教育研究所『連合国の対独占領教育政策に関する比較研究』、国立教育研究所、105—112頁。

## 17. その他

### I 著書

- ・池田景一, 「誰も知らなかった遠視の恐さ」, 第三文明社, 238頁。

### II 編書

- ・原田 彰・伴 恒信他, 「同和教育と生涯教育を」, 『個を生かす集団指導実践大系』第18巻, 教育出版センター, 245頁。

### IV 雑誌論文

- ・猿田真嗣, 「自治体文化行政における成人教育像の可能性—『教育』『学習』概念の問題性の検討を通して—」, 『教育学研究集録』第10集, 筑波大学大学院博士課程教育学研究科, 45—56頁。
- ・猿田真嗣, 「文化政策における地域社会編成の論理—その方法論を中心に—」, 『教育制度研究』第19号, 教育制度研究会, 1—15頁。